

令和4年度発掘調査概要

発掘調査は、確認調査に基づき発掘が必要な地点について随時実施している。令和4年度は4回の発掘調査をおこなった。なお、うち1回は史跡午王山遺跡内で行った保存目的の確認調査である。

・西越後山遺跡第3次調査(分譲住宅建設前の記録保存に伴う発掘調査)

期間:令和4年4月22日

遺構:縄文時代早期の炉穴1基

遺物:なし

令和4年4月22日に行った試掘調査で炉穴を確認。検出された遺構が消失する恐れがあるため、同日付で遺構確認面及び検出された遺構の精査を行い、記録保存のための発掘調査を実施した。



・仏ノ木遺跡第8次調査(宅地造成前の記録保存に伴う調査)

期間:令和4年7月7日～7月21日

遺構:平安時代(9世紀)の住居跡1軒、弥生時代後期～古墳時代の住居跡2軒

遺物:弥生時代土器片・平安時代須恵器



・午王山遺跡第16次調査(保存目的の確認調査)

期間:令和4年8月2日～9月22日

遺構:弥生時代環濠とみられる溝1基

遺物:弥生時代土器片



・花ノ木遺跡第16次調査(個人住宅建設前の記録保存に伴う調査)

期間:令和5年2月21日～3月1日

遺構:弥生時代の溝1基

遺物:縄文時代・弥生時代土器片

